

<日付> 10月11日 (火)	<学級> 4年1組
-----------------	-----------

教科・単元名	国語「ごんぎつね」
--------	-----------

実践の概要

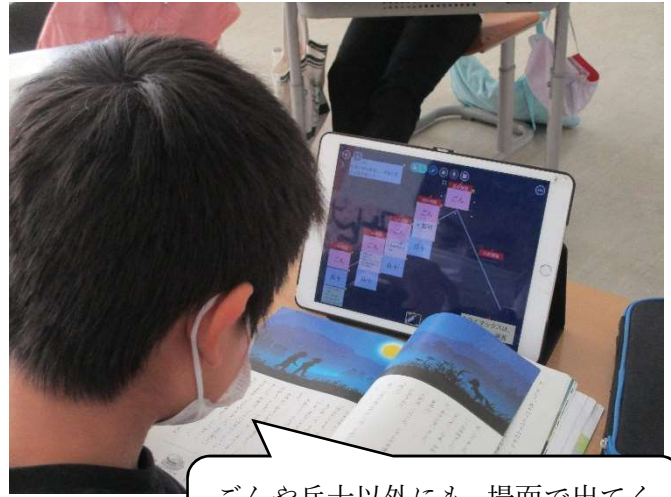
学習活動（４）「登場人物をプロット図に整理し、場面の変化を読み取る」

一から六の場面ごとに登場人物や場所をプロット図に整理した。ごん、兵十、他の登場人物、場所の４つでカードを色分け（ごんはピンク色、兵十は水色、他の登場人物は白色、場所は薄緑色）してまとめた。また、物語の山場はどこか考えた。

子供の姿



意味段落の6つの場面で、出てくる登場人物や場所をまとめている。



ごんや兵十以外にも、場面で出てくる登場人物をまとめている。



2の場面は、ごんや兵十の他にも弥助の家内や大勢の人、女たち、葬列の者たちなどが出てくる。



1～6の全ての場面にごんと兵十が出てくる。

感想	<p>P 場面ごとに登場人物を整理したことで、話の大まかな流れを捉えることができた。本文を読まないでカードを並べることができないため、教科書の本文を読み、確認する姿が見られた。</p> <p>全体で交流したときは、ごんと兵十は全ての場面に出てくると、すぐに気付く子どももいた。また、一つの場面の中で場所を表す言葉が複数出てくるところもあれば、前の場面の続きであるところもあると確認することができた。</p>
	<p>I ・プロット図に登場人物を整理すること</p>

まとめ

登場人物をプロット図にまとめることで、物語のあらすじを整理することができた。教科書から読み取ったことをすぐに、メモをすることができた。活動を通して、場面の移り変わりに着目するきっかけとなった。